

## 令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 6年 3月24日

団体所在地 東広島市黒瀬町南方 1199 - 1  
団体の名称 麦わらぼうし  
職・氏名 代表 稲垣 直登  
(施設名 麦わらぼうしこどもえん)

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

(活動内容)

- ・入園遠足
- ・野菜の種まきと苗の植え付け
- ・潮干狩りと海辺の探検
- ・ジャガイモの収穫と料理

#### 【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

- ・色水遊び
- ・絵の具づくり
- ・夏野菜の収穫と料理
- ・海水浴

#### 【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

- ・くだもの狩り
- ・秋祭り(自然の物を使ったお店屋さん)
- ・秋野菜の収穫と料理

#### 【1月～3月】(冬季)

(活動内容)

- ・餅つき大会
- ・氷を探す探検
- ・節分の豆まき
- ・そり遊び

【4月～6月】



潮干狩りと海辺の探検

お昼頃に干潮になる時間に合わせて、目的地の磯に向かいました。

普段は里山の自然の中で生活を送っている子どもたちだから、海辺の生き物や漂着物（ゴミなども含む）に興味津々で観察や採取を行っていましたが、帰る時間になると自ら採取した生物や海藻などを海へと帰してやっていました。（採取したゴミは持ち帰りました）

【7月～9月】



色水遊びから絵の具の作成

草花を使っての色水遊びがブームとなり身近な植物を使って様々な色を作り出して行きました。

その中で、赤系の色水に石鹼水を入れた子どもが「色が変わるよ！」と得意げな顔で、赤色から青色に変化する水を他の子どもたちに見せている場面が印象的でした。

また、濃い色水を作った子どもは「これ絵の具みたい」と、筆に色水を含ませ画用紙に絵を描いたり、それに触発された子どもの中にはレンガを割って絵の具を作る姿も見られました。

【10月～12月】



### 昆虫採集

今年度の夏は猛暑の日々が続いたせい、普段観察できる昆虫を見かける事が少ない気がしました。

しかし、秋も深まるに従って、バッタやカマキリをはじめたくさんの昆虫を観察することが出来、しかも、例年に比べて大きいものが多く、昆虫採集の日々が長い間続いていました。

【1月～3月】



### そり遊び

毎年恒例の“卒園遠足”。「今年はどこに行こうか？」の問いかけからのミーティングを経て、今年は、段ボールでそりを作って芝生の丘を滑ることに決定しました。

そして、一人ひとりが工夫を凝らしたオリジナルのそりと、お弁当を持って広い芝生広場へ遠足に行きました。

上手く滑れる場所を探しながら何度も挑戦する姿は、楽しさの中に頼もしさも感じ取れました。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）

- ・ 職員の資質向上について

6月に『こども学セミナー2023』、10月・12月に『こども学セミナー ぷらす2023』を麦わらぼうし主催で開催し、職員のみではなく広く子どもに関わっている方に、子どもに関わる上での重要な研修を受けていただいた。

- ・ 地域との関わりについて

地域の公立保育所との交流（麦わらぼうし所有の田畑での遊び等）や、主催の子育て広場に参加された未就園児の親子との交流。

代表による、市内の公立保育所の保育士さんに向けての講演（子どもの主体性・深い学び・自然保育等）7回と、公立保育所の保護者に向けての講演（保育所保育指針・子どもの主体性・深い学び・自然保育等）1回を行う。

- ・ 保護者との関わりについて

毎月一回、代表と保護者のお話し会。

親子参加の行事後の懇親会

- ・ その他

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--